

《北の近江振興プロジェクト》

琵琶湖に眠る水中遺跡魅力発掘・発信事業

琵琶湖に眠る水中遺跡の魅力発信！ 講演会・展示会 開催要項

1 趣旨

琵琶湖に眠る水中遺跡は、本県の特徴ある埋蔵文化財の一つである。その数約77か所は国内屈指の規模を誇る。また、縄文時代以来の多様な遺跡がよく残る様相は「国内唯一」ともいわれる。

この誇りある文化財の保存・活用を図るとともに、昨年度から日本の水中遺跡研究の先駆けである、長浜市葛籠尾崎湖底遺跡の発見100年の節目にあわせて「琵琶湖に眠る水中遺跡魅力発掘・発信事業」をスタートしている。

今年度は、滋賀県北西部に位置する高島市が講演会・展示会の舞台である。高島市では14か所の水中遺跡が確認されており、縄文時代から江戸時代にかけて集落跡、社寺跡など様々な性格の遺跡が存在している。その中でも、森浜遺跡では、水中遺跡としては初めてとなる銅矢板を打ち込んだ広範囲の発掘調査が行われ、その後の水中遺跡調査に大きく貢献した。

昨年度に続き、北の近江振興プロジェクトの一環として、当該地域全体への関心を高め、地域の誇りの醸成や地域活性化につなげるべく、地元高島市の後援を得て、琵琶湖の水中遺跡の魅力・発信に繋がる講演会を開催する。あわせて中江藤樹・たかしまミュージアムロビーにて展示会を行う。

2 主催 滋賀県(文化スポーツ部文化財保護課)

3 共催 **高島市**

4 後援 **高島市**

5 協力 中江藤樹・たかしまミュージアム 滋賀県立安土城考古博物館

6 講演会

・開催日 令和7年(2025年)11月2日(日)

・日程 13:00～ 開会あいさつ

13:20～ 報告「水中遺跡が物語る人々の暮らし」

報告者:滋賀県文化スポーツ部文化財保護課 田中 稔

13:45～ 講演「葛籠尾崎湖底遺跡の謎を解く！」

講師:立命館大学文学部特別任用教授 矢野 健一さん

14:45～ 閉会あいさつ

・定員 150名(当日先着順、事前申込みなし)

・会場 今津東コミュニティセンター 3階大ホール(高島市今津町中沼1丁目4-1)

※JR 湖西線近江今津駅から東へ約300m(徒歩4分)

※琵琶湖西縦貫道路(国道 161 号)から高島市新旭町饗庭(県道 333 号)で降り、北へ約2km(自動車約4分)

- ・入場料 無料
- ・その他 資料としてパンフレットを配布

7 展覧会

- ・会 場 中江藤樹・たかしまミュージアム エントランスホール(高島市安曇川町上小川 69)
- ・開催日 令和7年 11 月3日(月)～11 月16 日(日)
- ・入場料 無料
- ・主な展示品 高島市森浜遺跡・針江浜遺跡出土品等(詳細は別紙一覧参照。特に所蔵記載のない場合は、すべて滋賀県蔵)
- ・その他 資料としてパンフレットを配架

8 お問い合わせ

滋賀県文化スポーツ部文化財保護課記念物・埋蔵文化財係

TEL : 077-528-4674 FAX : 077-528-4956

E-Mail : kinenbutsu@pref.shiga.lg.jp